

議題	第18回運営推進会議
日時	2025年2月20日(木) 13:30~14:20
場所	デイサービス若芝 2F 和室
出席者	(順不同敬称略) 芝本町 町内会長 Y1様 芝本町民生委員 Y2様 ご家族 E様娘(S様)、K1様妻、K1様娘(U様)、K2様息子 三島市北包括 M様 デイサービス若芝センター長 渡部浩考 デイサービス若芝管理者 宇佐見恵子 デイサービス若芝総括マネージャー 渡部美保子 (議事録作成者) 渡部浩考 (議事進行者) 渡部美保子
会議の詳細	
<p>● ごあいさつ (センター長 渡部浩考) ～出席者のご紹介、本会議の趣旨(目的)について～ お忙しいところありがとうございます。町内会長、民生委員、包括、ご家族がご参加くださいました。ご家族の困りごとや地域の情報などを共有させていただけると幸いです。</p> <p>● デイサービス若芝の現況 (センター長 渡部浩考) ・現況他→10名定員ですが、年末年始はインフルエンザやコロナを含めて体調を崩されてお休みされる方もいたので、実際のご利用率は90%程度でした。 ・介護度1～3の利用者様が多いです。身体的にはまだまだ動けることも多いのですが、認知症など、支援を必要としている方が通われている。という状況です。</p> <p>● 事業所としての取り組み (センター長 渡部浩考) ・BCP(事業継続計画)、ハラスメント、虐待などの研修や訓練を実施しています。 介護事業所がブラックボックス化して外部の方からの信頼が損なわれることがないように、社会全体で懸念されるような事象について、しっかりと研修や話し合いの場を持つようにしています。 ・各種季節行事などを通じた活動は積極的に取り組んできました。</p> <p>● デイサービス若芝の活動 (管理者 宇佐見恵子) ・写真をみていただきながらの活動報告 ・個別の活動をいろいろと考えて実施していることを説明</p> <p><芝本町の防災訓練> 管理者 宇佐見恵子</p>	

毎年 12 月の第一日曜日に開催されています。職員が参加するようにしています。地域ならではのルール等もあると思いますので、情報収集も含めて参加しています。

センター長 渡部浩考

芝本町の防災訓練は比較的たくさんの方が参加していますよね

町内会長 Y1 様

100 人超ぐらいでしょうか。それでも 350 世帯あるので 1 / 3 ぐらいの参加という感覚でいます。

管理者 宇佐見恵子

中学生など若い世代も参加しているような印象です

町内会長 Y1 様

地域活動に参加して参加証明をもらって学校に提出するという宿題のような意味あいもあるみたいですが、参加してくれることはいいことですね。

民生委員 Y2 様

昔は女性陣が炊き出しの訓練をしていましたが、コロナ禍もあって行わなくなりました。

統括 渡部美保子

以前、中学生などの若いメンバーが高齢者の家に声を掛けて回るという訓練を行っているという話を聞きました。非常に良い取り組みだと感じていましたが、まだ続けているのですか？

町内会長 Y1 様

社会情勢の変化もあって中学生だけでは難しい活動になってきたので、大人も困っている方々の状況をあらためて把握するという意味で、一緒に回るように見直しをしているところです。

K1 様妻

私たちの町内でも大人と一緒に中学生が回ったりしているようですよ。

統括 渡部美保子

芝本町はマンションが多くて、生活実態がつかみにくく災害時の支援が難しくなるということ聞いたことがあります。

町内会長 Y1 様

そうですね。町内会としては把握しにくいところがあります。防災訓練などはマンション単位で行ってもらうようにしています。それらの情報を町内会にあげてもらおうという形で連携している感じです。町内会がマンションに入り込んでいくというのは現実的ではないです。

民生委員 Y2 様

マンションにも組長のような役割の方がいるので、そういった方が芝本町の防災訓練に参加したりして繋がりを持つようにしている部分もあります。

統括 渡部美保子

ありがとうございました。私たち事業所も地域の一員として何かできることを探していきたいと思います。

<地域情報>

街中ほっとサロンに利用者様の創作物を展示させてもらい、皆様とその見学に行くという活動もしていましたが、ほっとサロンが郵便局の2Fに移転してしまい、展示も行わなくなってしまいました。

<事業所として大切にしていること>

統括 渡部美保子

話しやすい環境作り

話しやすい環境を作るために話し方、聞く姿勢、話しやすい仲間、相性の良い人などの重要性。騒がしすぎない環境や静かすぎない環境のバランスの大切さ。

伝える技術

認知症の方への伝え方の工夫（ゆっくり話す、身振り手振り、表情の変化など）。

言葉にならない言葉を汲み取ることの重要性と、そのための工夫。

行動の促し

急かさず強制しないで行動を促す方法について。

社会との繋がりを持ってもらうための活動の例（外出や社会活動）。

<その他情報交換>

家族からの発言・情報

- **K1 様妻:**
 - お風呂に入れる際の苦勞について
 - 服を着る順番がわからなくなるため、サポートが必要
 - 食事の問題についても触れる
 - 認知症の先生の指示で施設を利用することになった経緯
 - GPS 機器を活用して外出時の心配を減らす工夫
 - 初期の頃の対応についての経験共有
- **K2 様息子:**
 - 母親が夜眠れない、夜中に2階に来ることについての問題提起
 - 睡眠薬の使用についての質問
 - 夜の徘徊防止のための具体的な対策
- **E 様娘 (S 様) :**
 - 母親の訪問看護の様子とその効果について報告

- 母親のデイサービス後の様子とその対応について感謝の言葉

職員からの言葉

- **管理者 宇佐見恵子:**
 - お風呂に入れる際の工夫やサポートについて助言
 - 夜の対応についての意見交換
 - 外出時の心配を減らすための助言
- **統括 渡部美保子:**
 - 睡眠薬の使用に関する情報提供とそのリスクについて説明
 - 他の家族へのアドバイスと経験の共有の重要性
- **包括 M 様:**
 - 夜間の対応に関する相談が多いことを説明
 - 認知症の専門医や精神科の受診についての提案
 - 自身の認知症の家族の経験談を共有
 - 「ほどほどに」というバランスの大切さについての意見

統括 渡部美保子

本日はお忙しいところありがとうございました。ご家族からのお話はとても貴重なものです。定期的に意見交換の場をいただくと非常に助かります。

次回は半年後の令和7年8月頃を予定しております。